

埼玉県オリジナルいちご品種チラシ等デザイン制作業務委託

仕 様 書

- ・ この仕様書は、企画提案書作成用である。
- ・ 企画提案競技後、埼玉県は契約先候補者と協議を行い、協議が整った場合は仕様書を契約先候補者の企画提案内容に合わせ修正の上、契約を締結する。

第 1 委託業務名

埼玉県オリジナルいちご品種チラシ等デザイン制作業務委託

第 2 契約期間

契約締結日から令和 8 年 1 月 3 0 日まで

第 3 業務の目的等

埼玉県では、近年オリジナルいちご品種として、「あまりん」、「かおりん」及び「べにたま」（以下「オリジナル品種」という。）を開発した。

令和 5 年 2 月に開催された「第 1 回全国いちご選手権」（一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催）において、県内生産者の出品した「あまりん」をはじめとして、本県のいちご生産者が最高金賞ほか各賞を受賞したことを皮切りに、その後の同年 12 月開催「クリスマスいちご選手権」では「べにたま」が、令和 6 年 2 月開催「第 2 回全国いちご選手権」では「あまりん」が、令和 6 年 12 月開催「第 2 回クリスマスいちご選手権」では「べにたま」が、令和 7 年 2 月開催「第 3 回全国いちご選手権」においては「あまりん」が最高金賞を受賞し、そのほか本県のいちご生産者が出品した「あまりん」や「かおりん」、「べにたま」など県産いちごが各賞を受賞した。

そして、本県は「最もおいしいいちごを生産している県」として、全国初、かつ、3 年連続で全国唯一となる「プレミアムいちご県」に認定された。同選手権は、野菜・果物のプロである野菜ソムリエが審査員を務め、商品名や産地、生産者情報などを全て伏せた上で、その食味を審査し、最もおいしいいちごを決定するものであり、埼玉県産いちごのおいしさが高く評価*されている。

本業務では、オリジナル品種それぞれのブランドイメージを確立するため、消費者等への PR に使用するチラシ等のデザインを制作するものである。

* 同選手権の受賞は、出品した生産者の品物を評価したものであり、品種全般を評価したものではないこと。

第4 業務の概要

- ・ オリジナル品種それぞれを PR するチラシ・ポスター用のデザイン制作
- ＊ 「あまりん」「かおりん」「べにたま」それぞれ少なくとも1種類ごと、計3種類のデザインを制作すること。
- ・ 自由提案（動画、ノベルティのデザインなど、オリジナル品種の PR に活用できるもの）

第5 デザイン制作に当たって考慮すべき視点

本デザイン制作に当たっては、次の点を考慮して提案すること。

- ・ オリジナル品種については、各種コンテストで最高賞ほかを獲得するなど、その「おいしさ（食味の良さ）」を高く評価されており、数多くのメディアで取り上げられるなど注目が高まっている。また、他品種と比べても高値で取引されており、県内外の百貨店やいわゆる高級スーパー等でも取り扱われている。

そのため、デザイン制作に当たっては、他産地・品種との差別化を図り、オリジナル品種それぞれの「おいしさ（食味の良さ）」や特長を最大限訴求しつつ、高級感や特別感のあるブランドイメージを形成するデザインとすること。

- ・ デザインについては、消費者等が『埼玉県』のいちごであることを想起するように、オリジナル品種それぞれの品種名称だけではなく、「埼玉県」と「あまりん」、「かおりん」又は「べにたま」を結び付けてイメージできるようなものとすること。
- ・ オリジナル品種それぞれのポジショニング等については、概ね次のようなイメージであり、本デザイン制作の方向性として参照すること。

<あまりん>

- ・ 平成 21 年に育種を開始した当時、県内においては、消費者ニーズの多様化と大都市近郊の立地条件を生かし、観光農園や庭先直売形態の比率が上昇していた。そのような中で、県内では他団体の育成品種（「とちおとめ」や「やよいひめ」など）が主となっており、県内の生産者から「せっかく、埼玉県にいちごを買いにきていただくならば、埼玉県ならではの独自品種が欲しい」との要望が寄せられていた。そこで、観光・直売に対応可能な高糖度・果実外観（果形、果皮色、光沢）等の優良形質を有することを育種目標として開発を始めた。
- ・ 平成 21 年に育種を開始し、平成 31 年に品種登録されたことから、品種開発には約 10 年の歳月を要している。
- ・ 「あまりん」は、収穫始期がやや遅く、一般的な品種と比べて収量性はやや低い。一方、育種目標として最重要視した「食味の良さ」が消費者等から高く評価され、単価が上がっていることから、その「食味の良さ」と希少性を生かし、高単価の販売が実現できる品種を目指している。
- ・ なお、観光・直売向けの品種として開発しているが、市場出荷なども含めて多様な販売チャネルで取り扱われている。

- ・ 「あまりん」は、高い糖度に比して酸味が少ないため、際立つ甘さとほのかな酸味が特長である。他の品種に比して、1果房当たりの花数が少ないことから、より1粒に味が凝縮されるものと想定される。
- ・ 「あまりん」は、心臓形の形状をしており、かつ、ヘタの付け根部分が内側に向かって窪んでいるため、果実の断面はハート形になる（ただし、栃木県の「とちあいか」などハート形を特徴として訴求する既存品種がある。）。果肉の色は橙赤、果心の色は淡赤であり、維管束（白）とのコントラストで美しい断面となる。
また、果皮の色は鮮やかな紅色をしており、色ツヤもよい（そう果の落ち込み具合によるものと想定される。）。果形の乱れも少ないことから、美しく整った外観となる。

<かおりん>

- ・ 平成20年に育種を開始した当時、県内においては、消費者ニーズの多様化と大都市近郊の立地条件を生かし、観光農園や庭先直売形態の比率が上昇していた。そのような中で、県内では他団体の育成品種（「とちおとめ」や「やよいひめ」など）が主となっており、県内の生産者から「せっかく、埼玉県にいちごを買いにきていただくなれば、埼玉県ならではの独自品種が欲しい」との要望が寄せられていた。そこで、観光・直売に対応可能な高糖度・果実外観（果形、果皮色、光沢）等の優良形質を有することを育種目標として開発を始めた。
- ・ 平成20年に育種を開始し、平成31年に品種登録されたことから、品種開発には約11年の歳月を要している。
- ・ 「かおりん」は、収穫始期が遅く、一般的な品種と比べて収量性は低い。管理作業の手間がかかること、栽培が難しいこと（品質の安定化や収穫適期（完熟）の見極め）などの理由から、オリジナル品種の中では作付面積が最も少なく、一部の生産者による庭先直売等が主とした販売チャネルと想定される。
- ・ 今後、飛躍的に作付面積が増大することは難しいものと予想されるが、育種目標として最重要視した「食味の良さ」は「あまりん」にも比肩する、あるいは上回る（県の育種担当者 談）品種であり、その「食味の良さ」と希少性を生かし、高単価の販売が実現できる品種を目指している。
- ・ 「かおりん」は、糖度が非常に高く、酸度も高い傾向にあるため、濃厚な味わいが特長である。
- ・ 「かおりん」は、円錐形の形状をしており、果実の大きさは「中」であり大きくならない。果皮の色は、赤（オレンジがかった赤色）である。
収穫始期が遅く（極晩生）、1果房当たりの花数・全収穫期間を通じた総果房数が少ないことから、収量性は低くなり、作付面積も相まって希少性の高い品種と言える。
また、果実に空洞（いわゆる「す」が入る）が発生しやすいが、これは果実の水分量が少ないことが影響するものと見られ、より甘さと酸味が濃く感じられ、濃厚な味わいとなる。

<べにたま>

- ・ 「あまりん」及び「かおりん」が観光・直売向けに開発されたところ、県内の市場出荷

経営の生産者からは、良食味であることに加えて、12月上旬から収穫可能で収量性に優れる品種が求められていた。そのような要望に応え、12月上旬に収穫が開始でき、収量性が高く、果実外観（果形、果皮色、光沢）が優良かつ良食味等の形質を有することを育種目標として、開発を始めた。

- ・ 平成 24 年に育種を開始し、令和 7 年に品種登録されたことから、品種開発には約 13 年の歳月を要している。
- ・ 「べにたま」は、収穫始期が早く、一般的な品種と比べて収量性も高く、「あまりん」及び「かおりん」よりも大果の傾向がある。
- ・ 観光・直売の農園でも導入され始めているが、市場出荷に適した品種として開発している。そのため、育種目標として最重要視した「食味の良さ」や収量性の高さ（「あまりん」・「かおりん」よりも早くクリスマス頃からシーズンが始まるなど）を生かしつつ、「あまりん」ほど高単価ではないが、比較的高単価の販売を実現できる品種を目指している。
- ・ 「べにたま」は、卵円形の形状をしている。果実の無種子帯（ネックと言われ、ヘタ部分と果実の間の部分）があることから、ヘタ部分が取りやすい。

果肉の色及び果心の色が白であることから、果実の断面が真っ白と珍しく、「あまりん」や「かおりん」ほかの品種と見た目での差別化が図りやすい。果皮の色は橙赤（オレンジの強い赤色）であるため、果肉の白とのコントラストで美しい見た目となる。

<参考>埼玉県の一ちご生産・育種事業について

- ・ 埼玉県では、昭和 30 年代後半には「ダナー」などの品種が多く栽培され、いちごと言えば「埼玉ダナー」として知られていた。昭和 40 年代には、県内のいちごの作付面積は 12,000ha に達し、全国 1 位の収穫量を誇るいちごの一大産地であった。
- ・ その後、県内では露地栽培が浸透していた故にビニールハウスの導入が遅れたことや他産地でのブランド品種の誕生などを原因として、昭和中期をピークとして作付面積は減少していった。令和 5 年産 野菜生産出荷統計（農林水産省）では、埼玉県のいちごの作付面積・収穫量は全国第 16 位となっており、収穫量（生産量）第 1 位の栃木県と比べると約 8 分の 1 にも満たない状況となっており、埼玉＝いちごのイメージも薄れてしまったものと思われる。
- ・ 本県では、その間も「ベリースター」（昭和 49 年育成完了）や「彩のかおり」（平成 8 年品種登録）といったオリジナルの品種を開発したが、生産者による果実収量・品質格差が大きいなどの理由により、作付面積の増加にはつながらなかった。
- ・ その後、県内では、消費者ニーズの多様化と大都市近郊の立地条件を生かした観光摘み取り園や庭先直売形態の比率が上昇する中、平成 19 年から育種事業を開始した。
- ・ 新品種の開発に当たっては、早晩性や収量性、耐病性、大果性、果実外観など、考慮すべき様々な要素がある。全国的に新品種の開発競争が激化している中、例えば単に「収量性が高い」などの品種では後発組として埋もれてしまうことから、何かに特化した一芸に秀でた品種を生み出すため、「食味の良さ」を最重要視して開発を始めた。
- ・ 「あまりん」及び「かおりん」については、観光・直売向けの品種として開発を始めたことから、収量性（多収性）は重視せず、「食味の良さ」を最重要視し、そのほか果実外

観（果形、果皮色、光沢）等の優良形質を有することを育種目標として開発をした。

- ・ 「べにたま」については、「あまりん」及び「かおりん」と異なり、市場出荷向けの品種として開発を始めたことから、収量性（多収性）を重視しつつ、「食味の良さ」を最重要視し、そのほか果実外観（果形、果皮色、光沢）等の優良形質を有することを育種目標として開発をした。

- ・ 各オリジナル品種の品種特性、及びこれまで本県が使用した紹介文については、下表のとおりであること。なお、品種特性に反した表現を用いることは不適當であるが、表現等をそのまま踏襲する必要はなく、当該オリジナル品種の魅力や特長が伝わる表現等を提案すること。

| | あまりん | かおりん | べにたま |
|------|---|---|--|
| 育成系 | やよいひめ×ふくはる香 | ふくあや香×ゆめのか | かおりん×かおり野 |
| 形状 | 心臓形 | 円錐形 | 卵円形 |
| 大きさ | 中 | 中 | やや大 |
| 果皮色 | 赤 | 赤 | 橙赤 |
| 果肉色 | 橙赤 | 橙赤 | 白 |
| 収穫始期 | 12月中下旬 | 12月下旬～1月上中旬 | 12月上旬 |
| 紹介文 | ・ 甘み推し ・ 食べた瞬間に際立つ強い甘みと、ほのかな酸味が特徴。果実の色ツヤが美しく、鮮やかな赤色が映える見た目の良さも魅力的です。 | ・ 香り推し ・ 豊かな香りが特徴。強い甘みに酸味のアクセントが加わり、張りのある食感に濃厚な味わいを感じられます。 | ・ バランス推し ・ 大粒で糖度が高く、爽やかな酸味が特徴。果実はルビーのように赤く、真っ白な果肉とのコントラストがとっても綺麗です。 |

※ 各品種の「形状～果肉色」については、品種登録の情報を記載している。

- ・ 各オリジナル品種の外観及び断面図については、別添1「参考資料」及び別添2「素材集」を参照すること。また、埼玉県公式YouTubeチャンネル「埼玉わっしょい」(<https://www.youtube.com/watch?v=Ppnnp2I6xwE>)において、各オリジナル品種の外観等を動画で確認できること（動画内で言及されている栽培方法等は品種固有のものではなく、生産者によっても異なるため注意すること。）。

- ・ これまでのオリジナル品種をはじめとする県産いちごの受賞実績については、別添1「参考資料」を参照すること。

また、県産いちごの受賞実績に関して、これまで本県が使用した紹介文については、下表のとおりであること。なお、活用に当たっては、当該表現等をそのまま踏襲する必

要はないが、不当な表示とならないようにすること。

| | |
|---|---|
| ① | 全国唯一！プレミアムいちご県 埼玉 |
| ② | 日本一おいしい埼玉のいちご |
| ③ | 全国初、3年連続で全国唯一の「プレミアムいちご県」に認定 |
| ④ | 埼玉県産いちごのおいしさが評価され、最高金賞ほかを多数受賞* *当該受賞者に対する評価であり、品種自体の評価ではありません。 |

- ・ オリジナル品種それぞれのデザインについては、ある程度トーン&マナーを合わせて制作すること。

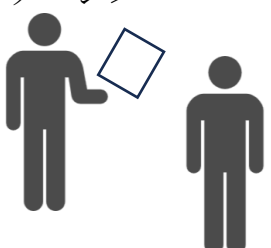
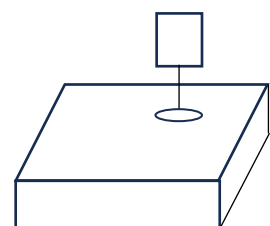
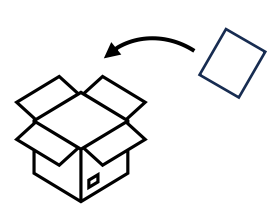
第6 業務の内容

1 デザイン制作

ア 内容

- ・ デザインについては、①チラシ用（両面）、②ポスター用（表面のみ）として、それぞれ下表のとおり活用することを想定していること。

また、それぞれの活用方法を踏まえ、概ね下表の掲載内容を想定していること。

| ①チラシ（B 5 縦での制作を想定） | | |
|--|--|--|
| <p><活用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直売や量販店等において、オリジナル品種の販売促進活動を行う際、消費者に対してオリジナル品種の特長等を伝えるため配布する。 ・ 直売や量販店等において、消費者に対してオリジナル品種の特長等を伝えるため、販促 POP として各店舗に設置する。 ・ オリジナル品種を栽培する生産者が、商品を販売する際、消費者に対してオリジナル品種の特長等を伝えるため、配布、店舗に設置又は梱包用の箱に同封する。 | | |
| <p><イメージ></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>販売促進活動でのチラシ配布</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>店舗での販促 POP</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>商品説明として同封</p> </div> </div> | | |
| <p><「表面」の掲載内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該オリジナル品種の写真をメインとしたデザインとして、品種名称（「あまりん」、「かおりん」又は「べにたま」）を表示すること。 ・ 当該オリジナル品種ごとに、当該オリジナル品種の魅力や特長を表すキャッチコピーを提案すること（デザインに入れ込む）。 ・ 消費者等が、「埼玉県」と「当該オリジナル品種」を関連付けて認識*できるよう、「埼玉県（又は埼玉）」という文言を使用するか、「埼玉県（又は埼玉）」を想起させるデザインとすること。 | | |

| |
|--|
| ①チラシ（B 5 縦での制作を想定） |
| <p>＊ 消費者等が『埼玉県』のいちごであることを想起するように、「あまりん、かおりん又はべにたま」という品種名称のみならず、「埼玉県」と「あまりん、かおりん又はべにたま」を結び付けてイメージできるようなデザインとする意。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県章（イラスト）、「彩の国 埼玉県」（文言）及び埼玉県マスコットキャラクター「コバトン」「さいたまっち」（イラスト及びコピーライト）を配置すること（配置等は別添 3「4 点セット」参照）。 |
| <p>＜「表面」の留意事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「表面」については、「②ポスター」用と同一デザインとすることを想定している。そのため、キャッチコピー等については、例えば「全国唯一」や「〇年連続」など、一時点の情報や継続的な更新が必要となる表現は使用せず、一定期間の使用に耐えるものとする。 |
| <p>＜「裏面」の掲載内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該オリジナル品種の写真及び品種名称とともに、当該オリジナル品種の味わいや見た目など特長を紹介する文章を盛り込むこと。 各種コンテストにおける、埼玉県産いちごのこれまでの受賞実績等を PR すること。 本県が運営している埼玉農産物ポータルサイト「SAITAMA わっしょい！」（https://www.pref.saitama.lg.jp/saitama-wassyoi/）にリンクする二次元コードを配置し、必要に応じて効果的な誘導文を記載すること。 |
| <p>＜「裏面」の留意事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> オリジナル品種それぞれの「裏面」のデザインについては、構成を大きく変える必要性はなく、ある程度統一して差し支えないこと。 「裏面」については、当該オリジナル品種の紹介文等を掲載し、「裏面」のみを印刷して、直売や量販店等の店舗において、販促 POP として活用することも想定していることから、当該用途を踏まえたデザインとすること。 「裏面」については、年度ごとに掲載情報を修正するなど、情報を更新して使用することを想定していること。 |
| ②ポスター（B 2 縦での制作を想定） |
| <p>＜活用方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 県庁や関係機関の施設、直売所、量販店、生産者が運営する販売所等に掲出し、消費者等に対して、当該オリジナル品種を PR する。 |
| <p>＜掲載内容（「表面」のみ）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシの「表面」と同一デザインとすること。ただし、チラシとポスターの活用方法の差異を踏まえ、それぞれでデザインの一部やレイアウトを変えた方がいい場合は、異なるデザインを提案して差し支えないこと。 |

- デザイン制作に当たっては、新たにオリジナル品種それぞれの写真を撮影することとし、当該写真をデザインに使用すること。

撮影場所・時期については、デザインの提案内容*に応じて、契約締結後に本県と

協議の上で決定すること。なお、オリジナル品種の収穫時期の都合上、概ね令和7年12月初旬～令和8年1月初旬に対応いただく想定であること。

撮影に伴う全ての経費は、委託料に含めること。ただし、撮影用としてオリジナル品種の買い取りが必要な場合は、本県で費用を負担できること。

＊ 提案内容に応じて、実際のは場又はスタジオ等での撮影が想定されるが、オリジナル品種を栽培する県内生産者については、本県側で紹介等が可能であること。

- ・ 「あまりん」及び「かおりん」にあつては、「林家たい平氏が描いたイラスト画・書体」、「べにたま」にあつては、「べにたまロゴデザイン」を作成（別添1「参考資料」を参照）しているため、本デザインにも入れ込むこと（裏面でも可）。
- ・ オリジナル品種育成時の研究報告については、別添4「研究報告」を参照すること。
なお、品種登録の情報については、「農林水産省 品種登録ホームページ（<https://www.hinshu2.maff.go.jp/>）」から確認できること。

＜品種名称＞

「あまりん」：埼園い3号、「かおりん」：埼園い1号、「べにたま」：彩6号

- ・ デザイン制作に当たっては、企画提案競技を経て決定した内容を基本として、本県と協議により詳細事項を決定し、制作を進めること。そのため、文章等の修正を指示する場合があること。

イ 規格等

B2縦、B5縦

ウ 校正

- ・ 受託者は、本業務の目的等を理解・尊重し、適宜本県の指示に従ってデザイン制作を行うこと。また、本県が校了と判断するまで、校正を行うものとする。

2 納品場所・方法

- ・ 本業務で制作したデザイン及び撮影した写真のデータについて、本県が指定する方法により、農業ビジネス支援課宛てに電子データで納品すること。
- ・ デザインデータの形式は、jpeg、png、ai 及び pdf とすること。
- ・ デザインデータの納品は、校了後速やかに行うこと。

3 実施体制等

- ・ 本業務を円滑に進めるため、熟練した専任の担当者（以下「専任担当者」という。）及びデザイナーほか必要なスタッフを置くこと。
- ・ 専任担当者は、本県との密接な連絡・調整の下、本業務の進行管理を確実に行うこと。
- ・ 本事業の確実な実施に向け、綿密な打合せを行うこと。

4 自由提案

- ・ オリジナル品種をはじめとする県産いちごの販売促進及びブランド確立を図るため、予算の範囲内で上記に含まれない制作物のデザイン制作等が可能である場合は、自由提案として評価することから、積極的に提案すること。

(参考) 本県では、別途「令和7年度埼玉県産いちごプロモーション業務委託」として、都内ポップアップイベントや県内イベント開催等を予定している。同事業の詳細は検討中であるが、イベント等で活用できる資材（動画・ノベルティなど）のデザイン制作も想定されること。

URL : https://www.pref.saitama.lg.jp/a0902/a7_ichigo.html

第6 成果物に関する権利の帰属等

- ・ 本業務で制作する著作物の著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、全て県に帰属する。
- ・ 受託者は、本県（本県が許可した者を含む。）に対して、本業務の履行に伴い発生する著作物に対する著作権人格権を行使しないものとする。
- ・ 本業務の履行に際して、映像、イラスト、写真等について第三者が権利を有するものを使用する場合、第三者との間で発生する著作権その他知的財産権に関する手続や使用料等の負担と責任は全て受託者が負うこと。

なお、本業務で制作したデザインについては、本県でチラシ・ポスターとして別途印刷（外部委託を想定）するとともに、県内のいちご生産者や関係団体等が自ら印刷・増刷できるようにデータ提供等を行う予定であることから、当該利用形態に支障を及ぼさないようにデザインを制作すること。

- ・ 著作物については、本県が必要と判断する目的に使用できるとともに、本県が認める第三者に使用させることができるものとする。

なお、本業務で制作したデザインについては、本県でチラシ・ポスターとして別途印刷（外部委託を想定）するとともに、県内のいちご生産者や関係団体等が自ら印刷・増刷できるようにデータ提供等を行う予定であること。

- ・ 受託者は、本業務で制作する著作物が第三者の著作権、プライバシー権、名誉権、パブリシティ権その他いかなる権利をも侵害しないことを保証すること。万一、著作物に関して、第三者から権利の主張、異議、苦情、対価の請求、損害賠償の請求等がなされた場合、受託者は自らの責任と費用負担においてこれを処理解決するものとし、本県に一切の迷惑損害を及ぼさないものとする。

第7 その他

- ・ 本業務の遂行に当たって、契約書及び仕様書に定めのない事項や細部の業務内容、疑義が生じた場合等については、本県と協議の上で取扱いを決定することとする。